磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町字浦町51
電話 219番
振替口座仙台31355番
編集人 高瀬霞
発行人 長瀬芳郎

わく擴大と賃金値上げ
石城地區は強硬方針

平職業安定所では廿六年度の失業對策における就業のワク擴大と日雇勞務者の賃金値上げに關して廿一日午後一時から市会議室において縣高橋事務官を招いて失業對策部会を開く、管内の失業者は現在二千廿名の枠で働いているが平職安としてはそのワクを二千七百五十名までに擴大する事を希望しておりとのワクが許可になれば平が三百名を四百名に内郷七百五十名を八百名に湯本二百卅名を三百名、赤井二百名を二百五十名、小名浜五十名から二百名、山田百名から二百名、勿來百九十名から三百五十名、好間二百名から二百五十名となり五百名がプラスとなるわけで登録失業者三千二百五十名の就勞はやゝ完全就勞の域に達する又賃金の値上げは最近の物價値上りからみて百六十二圓の予算單價を百八十圓に値上げをする案でこれを協議の結果縣に陳情をなしとの案が縣全体として考えられない場合は石城地區だけ切離しても實施して貰う様強硬に押して行く意向である

無試驗で海技免狀
小名浜水高公認さる

去る二月十五日付官報記載、運輸告示第二十六、七号により元福島縣立小名浜水産學校(現小名浜水産高等学校—昭和二十三年以降の卒業者より適用)は船舶職員法第五條第二項に規定する学術試驗合格者と認めるもの及びその者に授與すべき海技免狀に關する件並びに船舶職員試驗規定第十七條第二項の規定の筆記試驗を免除すべき學校及びその試驗に關する件等中に包含される事が公表された

元小名浜水校に對する海技免狀附與は水校卒業生及び關係教職員、PTA關係者の輿望に應じ、同校安達校長、小名濱海上保安部遠山部長、根本保安官が本廳に出向、意見具申と奔走の結果が實を結び、客年十二月十三日本廳松村主席海事試驗官が來校同校の教育狀況を視察し本省にて檢討の上今回の朗報となつたものである、これにより新らたに海技免狀の資格を受けるものは約三十名で將來海に雄飛する若人の前途は益々希望に滿ちたものになろう

小名浜町成人祭
新しい首途を祝福

小名浜町成人祭は二十日午前九時半より第一小學校講堂に水野町長、菅原町会議長、町会議員、各学校長、各官公廳、青年会、婦人会員等多數の來賓を迎え盛大に擧行された、高木公民館長の開會に始り水野町長より

本日の成年式典に參加された諸君は第二大戰の最中に育ち全力を盡くして戰爭の試練に耐えられ再建日本の次代を担うにふさわしい、我が國は古く文化國家をほこつた時代もあつた今日敗戰をまねいたが覺醒した國民は廢きよのうちに勇々しく立上り恒久平和を念願する文化國家建設にこん心の努力を盡くしている、公民として発足する諸君は豊かな教養を身につけた文化人として、日本建設のために邁進されることを希い本日の門出を祝福するついで菅原議長は戰爭放棄を宣言した我が國は民主的な文化國家を建設し世界平和と人類の福祉のために貢献する決意を示し文化道義の香り高い國家を樹立することが我々に課せられた義務である今日成人される諸君はこの目的を達成する原動力となられる方々であり民法上の能力者として一切の法律行爲を認められ選擧權、被選擧權も與えられて政治にも干與し得る一生を通じて意義深きものがある、公民として責任の重大さを認識され自主的な教養を身につけ新日本建設のために精進されるよう念願して祝辭となす……

と祝辭をのべられた、その他草野社會教育委員長三浦郵便局長、坪内教育委員長、松山婦人会長、小泉第二青年会長等の祝辭があり成人代表鈴木陽一、鈴木美智子兩名の宣誓があつて式を終了した式後福島地裁平支部庶務課長荒木登氏の社会人としての覺悟と題して講演があつた

社會黨から三名
小名浜町議戰に公認

社会黨小名浜支部は二月十七日支部執行委員会を開催し地方選擧對策に就いて討議した結果、石井幸平、新田元次、鈴木五郎の三氏を公認として決定、町議戰を強力に推進する事になつた

自由黨双葉支部結成

自由黨双葉支部結成大会は来る二十五日午前十時半から富岡町小學校講堂に黨員三百名來場し盛大に開催の豫定であるが來賓として黨本部から鈴木正文前勞相、法務政務次官高木松吉代議士等多數出席するので盛會を豫想されている

教育講座
植田PTA

植田小学校PTAでは道義の頽廢を是正し健全な思想を普及する目的で毎月知名の士を招き公民館に於て教育講座を設ける事になつた

社教育研究大會
社教委石城出張所主催

福島縣社会教育委員会事務局石城出張所では来る二十四日午前九時より石城郡赤井村第一小學校に於て、社会教育關係並に各界代表合同による社會教育の活動を向上させ充實させる方策の研究協議をなすために縣教育委員会代表、小中學校長、PTA代表、青年團代表、石城、平視覺教育代表による社会教育研究大会を開催する、小名浜町より第一小學校長高木長年氏、婦人会代表松田みえさんの兩氏出席の豫定

東北民事部より視察

東北民事部厚生課テラジー・トミヨ氏は廿日午後一時に來平石城地方事務所平市の課長並に係員から地方の兒童福祉について説明をうけたあとそれらの設備について調査し内郷町綴保育所を視察して湯本町に一泊、廿一日午前八時に福島市に赴く豫定

勞災安全の講話と教育

平地區産業安全衛生勞災協會では来る二十四日午前十時から平市いわき民報社ホールで福島勞働基準局長高梨湛氏の「工場安全の特質について」平勞働基準署卷山監督官の「災害統計の作りかた」の講習をなし各事業所の職長教育会を開催するなおテキスト代として会費三百円を持參のこと

天氣概況

【本日】朝の内は北よりの風、日中は東よりの風後薄曇りとなり天氣は下り坂に向いましよう

魚菜市況 18日

【小名浜中央青菜市場】

卵	一〇～九、一圓
ねぎ	二五～四〇〃
油菜	三、五～四〃
牛蒡	九二～一二五〃
人參	六一～九〇〃
大根	三〇～四八〃
白菜	五〇〃
切芋	一四五〃

【魚市場】送り正月に就き市場休場

議員の横顔 ㉒
平支局 梅野生

公明正大、福徳圓満型
"線の太い"佐藤源吉氏

福島縣鐵工機械工業協同組合理事、平商工会議所理事、自由黨平支部幹事長、平市会議員、平市鐵工業會長、佐藤源吉氏の名刺の肩書きを手々操樂してゐたら忽ち數行が消えていつてしまう、だから肩書はこの位で節約として貰うことにして、その表示された役目のどれかで増田建設相を出迎えのために平驛に急ぐ佐藤議員を間一髪見町の事務室に捕える、堂々たる体軀、ピッタリ合つた洋服、そして何處にも隙がないぞとばかりキチッと結ばれたネクタイ、住年のフーバーがピヨッコリやつて來て對談しているような感じである、との印象と盛り澤山の肩書と結びついて今回郡部から縣公明正大型、福徳圓満居士の名ある所以である、理はあるまいその日本人離れのした總太い下アゴが動いて、

「僕は政治というものはスベカラク硝子張りの中で行うべきだと常に主張して來たし、また今日及び今日以後の政治の在り方は絶對にそうあらなくちゃいかんと確く信じている、くさいものに蓋をしようとするから一層モヤ〳〵が發酵し疑惑が深まつていく」

と喝破する佐藤議員の畫の顔は丸のまゝに丸く、パイ雪を混えてしおつている、佐藤さんは休まうとドテラに着かえたがシンしんと雪の音が耳について寢つかれさうもない

——、朝鮮動亂の思惑で、ゴム、鐵、紙等の相場が鰻上りに上昇して、御多分に漏れず佐藤さんの店も工場も刻々と車輪の廻轉が早くなり、その廻轉速度に比例して佐藤さんの懷も膨らんでゆく一方だが、この佐藤さんの何不自由ない三〇〇〇顔がホンのチョッピリ歪む時がある、——

※

——、夕刻から降り出した雪が夜に入つても止まず裏庭の八ッ手の葉がパイ雪を混えてしおつている、佐藤さんは休まうとドテラに着かえたが、

「ミヤ子レコードをかけてみい」夫人が大事さうにしまつてあるレコードを持つて來る、「おかけしますか」「ウン」夫人の眼にはすでに涙が宿つている、このレコードこそ佐藤氏の一粒種、孝青年が出征前兩親のために吹き込んだ歌謡曲で、いまでは愛兒最後の肉聲として秘藏されているレコードなのだ、

やがて低音針のかすかな軌音と共に、甘くかなしいメロディーに乘つて亡き孝君の聲が再現される、若く匂おやかな聲である、佐藤氏夫妻の輕くとざされた瞼の裏には戰死した孝青年の姿が忽然と蘇り雪の北鮮で亡くなつたというのは嘘ではなからうか、フッとそんな思いが兩人の腦裡をかすめるのだ、

「おさな馴じみのあの友との友あゝ誰か故郷を思わざる」

レコードが終るところミヤ子夫人の双頬に二本の涙線が描かれ、佐藤議員の横顔が瞬間チョッピリゆがんで、夫婦二人ぎりの部屋を柔らかく包んだ、雪は音もなく降り續いている

謝失火御見舞

十八日午後六時十分頃拙宅より失火し皆様をお騷がせ致しましたことを深くおわび致しますと共に消火に御協力下され且つ御町重なる御見舞を頂戴しましたことを感謝致します実は一々拜趨の上御禮申上るのが至当ですが取あえず紙上をもつて深甚なる謝意を表します

磐崎村下湯長谷
農機具商　織内精一

謝類燒御見舞

十八日の火災のため類燒しました折には早速かけつけ消火に御協力下され且つ懇切な御見舞に預かりましたことを心から御禮申上ます

磐崎村下湯長谷
東北配電散宿所
岡田幸雄

開店お知らせ

二月一日ヨリ昔馴染ノ長瀬肉店ガ再ビ牛豚鳥肉ノ販賣ヲ初メマシタ昔ニ變ラズ御引立ヲ願イマス

絶對信用ノ出來ル本場自慢ノ霜降リ牛肉ヲ一度御試食下サイ

牛豚鳥肉　長瀬食肉店
須賀町水素前通リ
電話十二番

⊙肉体文學作家　田村泰次郎の野心小説映畫化
(オール讀物「土砂降り」所載)
●土砂降りの雨の夜!!
夫を待ち焦れる人妻の!!　たゞいちどの過失!!
立本肉体の暴風雨(おらし)
22日—23日 二人の涙と笑い
エンタツ アチャコの「僕は誰だ」
キャスト
藤田進
江川宇禮雄
夏目静子
大日方傳
東宝映畫
【座磐城】

増産と増收競技會

優秀作に賞狀(品)受與

豆大と稻水

食糧増産並に農業經營の改善を圖る廿五年度産水稻作改善増收競技會、大豆改善増收競技會は十九日石城地方事ム所に開いた結果次の通り入賞者が次定した

▽水稻作

特等　泉村山子春吉

一等　箕輪村　阿部正美　小名浜町小泉高、平市会川一、泉村下遠野武

二等　草野村久田藤之助　大野村大谷一郎、豊間町大谷義長、豊間町橋本德治、箕輪村佐藤樂、川前村矢内誠、泉村佐藤清一、同下遠野重次

三等　平市志賀傳一、好間村高木甫、四ッ倉町須藤久四郎、大浦村鯨岡美秋、平市木山一郎、赤井村萩野喜平、高久村鈴木六郎兵衛、小名濱町山野邊清、同永井勝治、鹿島村箱崎憲一、湯本町坂本福彌、小名浜町永井光、同小泉幸延、三坂村小野辰彌、澤渡村佐川彦吉永戸村平山勇太郎、三坂村佐藤德男

▽大豆作

一等　高久村　鈴木健助

二等　澤渡村　佐藤一郎

三等　三阪村　佐藤　溫

なお当日の業者に對する賞狀、賞品の授與式は三月上旬管内の供米完遂と同時に實施する豫定

海區調整委

小名漁協組調査

石城海區調整委員会は本二十一日午前九時より午後五時まで小名濱漁業協組に於て漁場の使用、出漁船舶、船舶從業員、水揚高等漁業權行使狀況の調査を行う

児童福祉の方案

教委石城出張所より縣に上申

すべて國民は兒童が心身ともに健かに生れ且つ育成される樣に努めなければならないという兒童憲章制定が本年五月中央において宣言される事が予想されているので教育石城出張所ではこの兒童憲章制定運動の一環としてそれに對する地方の意見を郡下から三月廿日までにとりまとめ縣に上申して運動を展開する運びとなつた、運動の基本方針としては中央兒童福祉審議会の案になる『兒童憲章案』を基礎として批判検討を加え縣下としての意見を纒めるためすべての縣民の意思がこれに參畫し得るようあらゆる地域に審議機關が準備される樣にする事、並に兒童福祉思想の普及徹底の實を擧げる樣に考慮して審議すると共に兒童を一人格者として尊重しその生活の保證と愛護育成に努力することになつた

木炭品評會

石城地方事務所では管内生産木炭の品質を改善し販路を擴張するため石城木炭生産組合連合會と共催で廿五日午前十時から平市公会堂で石城木炭品評会を開く事となつた、出品物は普通販賣用及自家用として生産したもので加工品は除外する、數量は一俵を一点とし一等から四等までの優秀品には縣知事賞を贈與する、審査長は縣下根津林産課長で出品の受付は廿二、廿三の兩日

山林種苗組合臨時總會

石城田林種苗業組合（組合長志賀兼太郎氏）では廿一日午前十時から石城地方事務所会議室で臨時總会を開き次の事項について協議する

一、廿五年度樹苗養成補助金處理及配分の件

一、廿六年度春季造林用苗木の取扱方法決定の件

一、廿六年度春季造林用苗木販賣價格の件

平鐵道公安

無主物押收

平鐵道公安室では廿日午前一時廿分平着上り列車の所持品違反者を一齊けん査した結果リック風呂敷など無主物品卅一個を押收した、その内譯は精米七俵、麥一、五俵、粉一、五俵

八幡丸の合同捜索

漂流中とSOS入電

第三管區海上保安部（横浜）管内には去る十五日の猛吹雪のため靜岡縣所屬漁船稻荷丸（一九屯）外九隻の消息不明船舶があるので、同部所屬「むろと」「おおとり」が鋭意捜索に當つているが昨十九日は久之浜刈込伊之吉氏所有第五八幡丸（一〇〇屯）より野島岬東南五〇哩附近を漂流中につき救助頼むとの入電があつたので、第三、第二管内海上保安部で合同捜索に當たる事となつた

總指揮は第三管區海上保安部長、船舶指揮には「むろと」船長があたり、「むろと」は銚子ー勝浦間「おおとり」は勝浦以西、「うづら」「かもめ」は銚子以北の海面を担当捜索にあたつているが「うずら」は一昨十九日午後十時二十分、八幡丸船主刈込伊之吉氏が同乘小名浜をお昨二十日午前十時「むろと」より小名浜水試無電局への通報によると八幡丸は銚子灯台東南五哩附近を漂流中の模樣である

漁網の盜難

双葉郡久之浜二〇石井由次氏所有美由丸（一九屯）は小名浜港船吏場北岸に繫留中一昨十八日午後十一時ー十九日午前一時の間漁網一丈（二万五千円相當）をせつ取された

盜んで逃走

二人連れの漁夫

一昨十八日午後六時頃小名濱町古港小名浜マーケット衣類店小谷菅若氏の店頭え漁夫風の二人連れの青年が訪れ品物を吟味する樣な樣子で洋服を物色、家人の隙を見て背廣三ッ揃二組、背廣上衣二着（計二萬三千円相當）を窃取逃走した

御知らせ

二十二日は電休日に付き休刊致します

磐城日日新聞社

小説　雲遙かなり　㊲

伊納川　銀

神と悪魔　五

「敗けて良かつたと思うと、しみじみ敗けた事が幸福だつた。」

「なるほど。」

「ところが考えが變つて來た。待てよと思つた、とのざまは何だと思つた日本は敗けた事によつて滅びない。この思い上つた甘え方で滅びてしまうと感じたんだ。よし勝つんだ。正義も道德も先づ勝つてからだと氣づいたんだ。俺は感傷をかなぐりすてた。國もせつぱつまつていれば國民もせつぱつまつてる。煙草や酒が國の財政を支える重要な物資になつているそういう國で、目の玉の飛びでる樣な税金を拂いながらあたり前に生き拔くにはどうしたらいいんだ。君、判るか。」

「うー、判らん事もない。」

「俺は先づ自分が生き拔く爲に、自分で出來る事をしたんだ。だが、生存競爭の世の中でだれもがそうしなければ生きられない程度の事だ。借家人の中には面と向つてはお追從をいいながら、かげでは不平不滿をいつている者もあろうし、登錄の事だつてこちらでは何もいわなくても、そうしなければ何とかされるように考えたり、ある壓迫や强制のように感じている者もあるだろうさ。然しそんなのに対して、決して御心配には及びませんといつて歩く程のお人好しでもない。どんな場合だつて人間が神であり得た事があるか。まして今の世だ。利用出來る特權をしまいとんでおく余裕などあるものか。君だつて戰時中、絶對闇買いをしなかつたといえるか。」

「それとこれとは話が違う。そうしなければ生きて行けないのと、不当の利益を得るのとでは、根本精神で違つている。」

「まあいい。俺が青年運動に反對したのは、協力しないという意味ではない。運動そのものが、文化に對する考え方が俺の氣に食わないんだ。戰爭に敗けた日本の文化というものはね、立つか滅びるか判らない日本の文化というものはね。どこまでも生産を基調とした文化でなきやあいけないと思うんだ。生産復興なしに日本の復興があるか。それを、唯お祭さわぎのような会議や集会にうき身をやつしている。そんなひまがあつたら、なぜ勤勞奉仕でもしないんだつていつてやつたんだ。」

「なるほど一理あるな」

「それが若い者を怒らせたのかも知れないが、そんな事で色々中傷されて新聞に書きたてられてたまるものか。」

祝　菊多支局開設

食糧配給公團　福島縣植田支所　支所長　菅野　德藏

土木建築請負　大森組　蛭田　勝雄　植田町横町二三

株式會社　丹野組　組長　丹野四郎　植田町　電話〔自宅二〇一 工場二五七〕番

有限會社　常南自動車工場　代表取締役　栗田七五三夫　植田町　電話四五番

岩田建設工業株式會社　社長　岩田國吉　植田町　電話五二番

土木建築請負　大津組　大津辰雄　植田町　電話三〇二番

福島縣交通安全協會　植田支部長

磐城貨物自動車株式會社　植田營業所長　阿部勉

木材　薪炭　生産　移出　渡重商店　渡邊重三郎　電話　工場二二六　本店一〇番

常磐木材株式會社　取締役社長　苅野與三郎　外社員一同　常磐線植田町　電話二一一番

大　秋山材木店　坑木　秋山市造　パルプ　電話(植田)六二番　会津猪苗代町營業所　素材　秋山仁市

お料理　末よし　電話(植田)二一三番

植田町　電話四六番　有限會社　平和商會　代表取締役　合津定之

福島縣消防協會植田支部長　山田村消防團長　白沼武義　電話(植田)一五九番ノ乙

川部村東出炭礦　所長　東出秀雄

大地礦業株式會社　下瀧礦業所　所長　矢田三次

植田地區炭礦組合　志和半右工門

本郷木材株式會社　社長　本郷康夫　植田町　電話二四三番

植田町後宿　五十嵐金彌　電話一六三番

良い品を安いので評判の　松屋衣料店　植田町台町　電話三〇九番

植田町農業協同組合　組合長　高木一郎　專務　赤津新兵衛

植田海産物　丸公市場　赤津馬次郎　電話一三八、二〇八番